

証券コード：9012

株主のみなさまへ

第202期 中間期事業報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日





中間期事業概況

拝啓 株主のみなさまには、平素から当社および当社グループの事業に対して格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当中間連結会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日）の業績につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におきましては、引き続き沿線地域の人流回復傾向が見られたものの、諸物価の上昇など、注視が必要な状況が続きました。

このような状況の中、当中間連結会計期間の業績につきましては、営業収益は2,575百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は82百万円（同158.2%増）、経常利益は67百万円（同57.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は25百万円（同89.2%減）となりました。

当社では、株主のみなさまをはじめ、お客様、沿線地域社会の信頼に応えられる企業となるため、業績回復に向けて全力を尽くすと共に、コンプライアンス、環境対策、リスク対策など企業の社会的責任を果たすべくCSR経営を積極的に推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

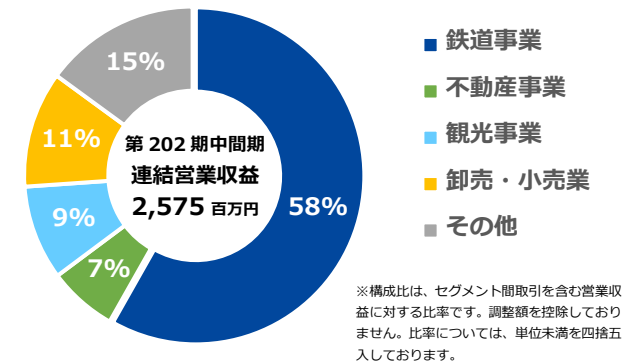
敬具

2024年12月

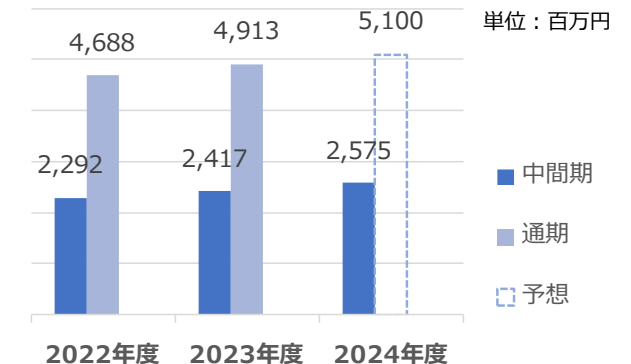
秩父鉄道株式会社

連結決算の概要

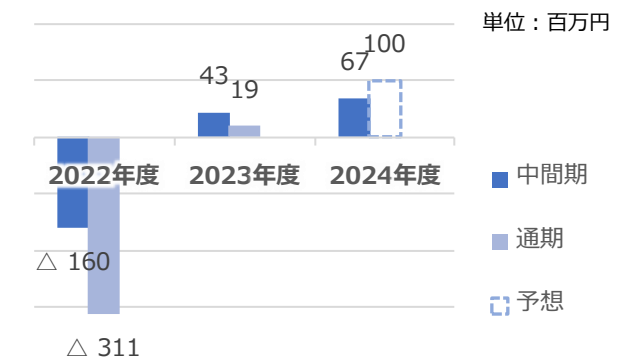
セグメント別営業収益構成比



営業収益



経常利益





事業概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、卸売・小売業、その他の事業を展開しております。
当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業



鉄道事業におきましては、旅客部門は、「電気機関車運転体験」をはじめ鉄道の魅力を活かした体験型イベントを開催したほか、当社にもゆかりのある渋沢栄一翁の新紙幣発行を記念した企画列車やスタンプラリーを実施するなど積極的な旅客誘致に取り組みました。これらにより、旅客の人員及び収入は、前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門は、輸送量が減少したことにより、貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、修繕費や電力費が増加いたしました。

この結果、営業収益は 1,639 百万円（前年同期比 0.5%減）、営業損失は 89 百万円（前年同期は 30 百万円の営業損失）となりました。

不動産事業



不動産事業におきましては、賃貸収入が駐車場をはじめとする賃貸物件の稼働率向上などにより前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は 186 百万円（前年同期比 3.1%増）、営業利益は 112 百万円（同 16.6%増）となりました。

観光事業



観光事業におきましては、天候に恵まれたほか、料金改定の効果もあり、長瀬ラインくだりをはじめ各施設の収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は 256 百万円（前年同期比 24.0%増）、営業利益は 35 百万円（前年同期は 5 百万円の営業損失）となりました。

卸売・小売業



卸売・小売業におきましては、コンビニエンスストアや駅売店などにおける売上が増加いたしました。

営業費用は、人件費などが増加いたしました。

この結果、営業収益は 314 百万円（前年同期比 5.2%増）、営業利益は 10 百万円（同 22.8%減）となりました。

その他



バス事業におきましては、前期に実施された貸切バスの下限運賃改定の効果もあり増収となりました。建設・電気工事業におきましては、完成工事高が増加いたしました。

この結果、営業収益は 421 百万円（前年同期比 37.8%増）、営業利益は 9 百万円（前年同期は 45 百万円の営業損失）となりました。

決算の詳細について



秩父鉄道 IR 情報

▶ <https://www.chichibu-railway.co.jp/corporate/ir.html>





連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科目	当中間 連結会計期間 (2024年9月30日)	前連結会計年度 (2024年3月31日)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,629,149	1,858,059	△ 228,909
固定資産	14,682,625	14,595,094	87,531
資産合計	16,311,775	16,453,153	△ 141,377
(負債の部)			
流動負債	3,369,103	3,500,051	△ 130,948
固定負債	7,988,687	8,023,672	△ 34,985
負債合計	11,357,790	11,523,724	△ 165,933
(純資産の部)			
株主資本	△ 2,114,378	△ 2,139,748	25,369
資本金	750,000	750,000	-
資本剰余金	19,032	19,032	-
利益剰余金	△ 2,851,467	△ 2,876,900	25,433
自己株式	△ 31,943	△ 31,880	△ 63
その他の包括利益累計額	7,057,255	7,058,085	△ 830
非支配株主持分	11,108	11,092	16
純資産合計	4,953,984	4,929,428	24,555
負債純資産合計	16,311,775	16,453,153	△ 141,377

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書の要旨

(単位：千円)

科目	当中間 連結会計期間 自2024年4月1日 至2024年9月30日	前中間 連結会計期間 自2023年4月1日 至2023年9月30日	増減額
営業収益	2,575,467	2,417,622	157,844
営業費	2,492,660	2,385,549	107,111
営業利益	82,807	32,073	50,733
営業外収益	15,199	34,581	△ 19,382
営業外費用	30,089	23,531	6,557
経常利益	67,917	43,123	24,793
特別利益	46,961	571,564	△ 524,603
特別損失	84,046	338,491	△ 254,444
税金等調整前中間純利益	30,831	276,196	△ 245,365
法人税、住民税及び事業税	4,885	37,881	△ 32,996
法人税等調整額	489	3,204	△ 2,715
中間純利益	25,456	235,110	△ 209,653
非支配株主に帰属する中間純利益	23	164	△ 141
親会社株主に帰属する中間純利益	25,433	234,945	△ 209,512

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：千円)

科目	当中間 連結会計期間 自2024年4月1日 至2024年9月30日	前中間 連結会計期間 自2023年4月1日 至2023年9月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,265	33,164	176,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 187,999	351,940	△ 539,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,159	△ 296,277	331,437
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	56,426	88,827	△ 32,401
現金及び現金同等物の期首残高	981,760	810,758	171,001
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,038,186	899,586	138,600

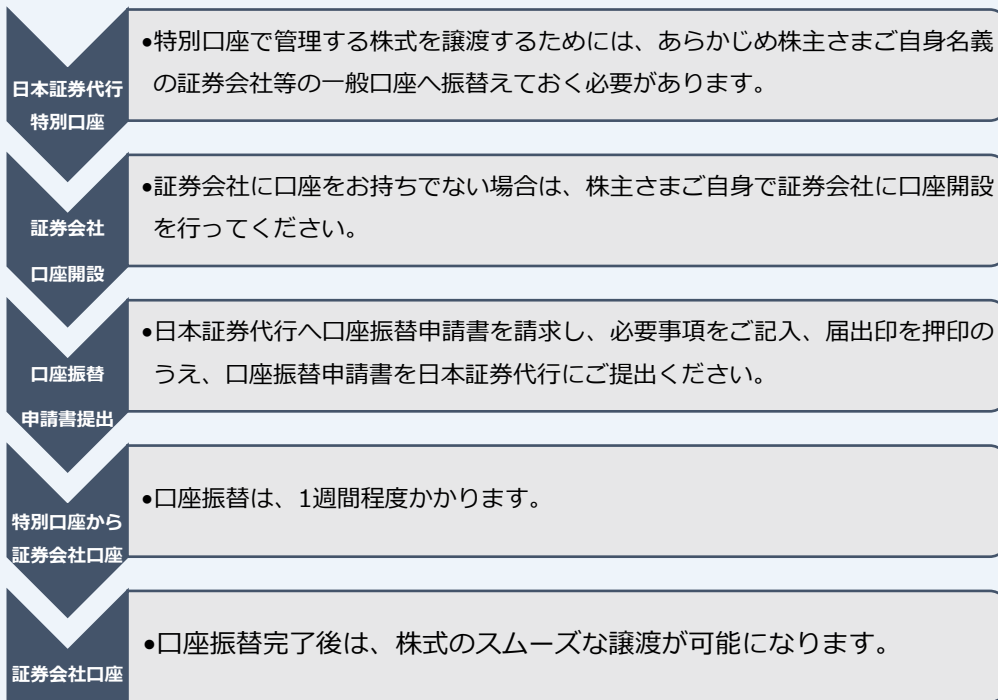
※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

株式に関する各種手続き

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化（平成 21 年 1 月 5 日実施）の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主さまの株式、当社が日本証券代行株式会社に開設した特別口座で管理されています。「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替えておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内



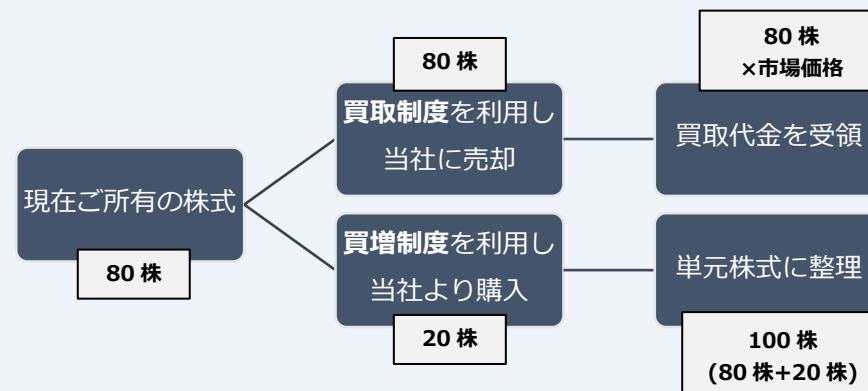
単元未満株式の買取・買増制度のご案内

当社の単元株式数は、100 株ですので、100 株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願いいたします。

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

（例）当社株式を 80 株ご所有の場合、その 80 株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度

ご所有の単元未満株式を 1 単元（100 株）の株式にするために必要な株式を買増することを当社に請求できる制度です。

（例）当社株式を 80 株ご所有の場合、20 株を市場価格で当社から購入し、100 株にする。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問い合わせ下さい。

日本証券代行 代理人部 （平日 9 : 00 ~ 17 : 00）

0120-707-843

株主優待制度

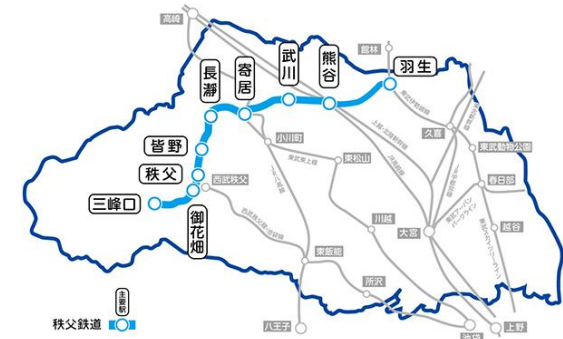
毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主さまに対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を発行いたします。なお、株主優待の内容や対象施設については、予告なく変更する場合がございます。

1. 優待乗車証（定期券式）

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
1,500株以上 2,100株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
2,100株以上	当社電車全線および索道（宝登興業株式会社 宝登山ロープウェイ） 全線優待乗車証	1枚

※有効期間：6月1日から1カ年間（5月下旬発送）



2. 優待乗車証（回数券式）

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
100株以上300株未満	2枚
300株以上500株未満	4枚
500株以上1,000株未満	6枚
1,000株以上	10枚

※有効期間：7月1日から1カ年間（6月下旬発送）

3. 優待割引券

ご所有株式数 100 株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
長瀬ラインくんだり ガーデンハウス有隣お食事代 （飲み物は除く）	50%割引券 各5枚
宝登山小動物公園 （宝登興業株式会社）	特別入園券 5枚

※有効期間：7月1日から1カ年間（6月下旬発送）



役員・株主メモ

役員（2024年9月30日現在）	
代表取締役社長	牧野 英伸
取締役	坂本 昌己
取締役	鷹塚 泰則
取締役	中山 高明
取締役	曾田 哲也
常勤監査役	根岸 俊介
監査役	正田 孝之
監査役	中谷内 茂樹

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日 定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
(郵便物送付先 お問い合わせ先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 0120-707-843（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店においても 行っております。
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞
単元株式数	100株
皆様へのお願い	住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が間違いなく届きますよう、お早めに上記株主名簿管理人にお手続きください。
ホームページ	https://www.chichibu-railway.co.jp ※情報誌「PALETTE」やイベント情報等がご覧いただけます。



発行：秩父鉄道株式会社

総務部総務課 TEL 048-523-3311

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地 <https://www.chichibu-railway.co.jp/>